

## NEWS RELEASE

<報道関係各位>

ピジョン株式会社

2018年8月20日

赤ちゃんの虫歯予防に「おやすみ前」の新習慣！自宅で手軽にフッ素塗布ができる

# 「ピジョン おやすみ前のフッ素コート」を新発売

2018年8月20日（月）全国で発売開始

ピジョン株式会社（本社：東京、社長：山下 茂）は、低月齢児でも自宅で手軽に乳歯ケアができる、泡タイプのフッ素塗布剤「ピジョン おやすみ前のフッ素コート」を、2018年8月20日（月）に新発売いたします。



## ■ 発売の背景

厚生労働省は『健康日本 21』で、虫歯のリスク軽減に「フッ化物歯面塗布」を掲げており、自治体の1歳6ヶ月の歯科健診では、フッ素塗布が勧められています。特に、赤ちゃんの乳歯は、神経を守るエナメル質や象牙質が永久歯より薄いいため虫歯になりやすく、また黒くならず白いまま進行するため、気づかないうちに虫歯になりがちです。さらに、乳歯が虫歯になると、口の中に虫歯菌が増え、歯茎の中の永久歯も虫歯になりやすくなります。そのため、**乳歯が生え始めた頃から歯みがきを習慣づけるとともに、日頃のケアが重要**となります。

本商品は、乳歯が生え始める生後6か月頃からの赤ちゃんを対象に、おやすみ前に簡単にフッ素ケアができ、虫歯になりにくい口内環境にすることを目的とした商品です。

## ■ 商品の特長

- ◇ 小児歯科医と共同開発。低濃度フッ素 100ppm で毎日の使用に適した仕様。
- ◇ 歯に塗り広げやすい泡タイプ。使用後のすすぎが不要で、うがいができない低月齢児にも使用可能。
- ◇ 寝ている間の虫歯の発生と進行を予防し、歯質を強化。
- ◇ ママやパパでも自宅で手軽にフッ素塗布ができる。

■ 一般の方からの問い合わせ先：お客様相談室 【TEL】0120-741-887 【URL】<https://support.pigeon.co.jp/>

## ■商品概要

商品名：ピジョン おやすみ前のフッ素コート  
 本体価格：972円（税込）  
 使用時期：6ヵ月頃から／歯が生え始める頃から  
 販売先：全国の育児専門店、百貨店、ドラッグストアなど  
 ブランドサイト：<https://pigeon.info/babyteeth/>

### ●歯間にしみこみやすい「泡タイプ」

- ・歯ブラシの毛の上に乗れ、垂れにくい。
- ・お子様の歯に簡単に広げることができ、まんべんなく塗布することができる。
- ・塗れた箇所を確認しやすく、歯間にじわっと浸み込みやすい。

### ●小児歯科医と共同開発

- ・日本歯科大学附属病院小児歯科教授の内川喜盛先生監修で、ママ・パパが安心して使える処方を実現。

### ●毎日の習慣にしやすい安心設計

- ・低濃度フッ素 100ppm、薬用成分 CPC<sup>※</sup>、キシリトール配合。 ※塩化セチルピリジニウム
- ・フッ素濃度が低く、使用後のすすぎが不要でうがいのできない低月齢の赤ちゃんにも使える。



## ■乳歯ケアの新習慣3STEP

赤ちゃんの虫歯予防のためには、毎日の乳歯ケアが大切です。親子一緒に、丁寧にしっかりと行うことを心がけましょう。ピジョンでは虫歯予防の新習慣として「毎日の乳歯ケア 3STEP（1.自分みがき 2.仕上げみがき 3.おやすみ前のフッ素コート）」をおすすめします。

### <毎日の乳歯ケア3STEPとは>

赤ちゃんの虫歯予防のためにピジョンがおすすめする、毎日の乳歯ケア方法です。

#### 【STEP 1】赤ちゃんの自分みがき

歯ブラシに慣れ、自分で磨く感覚を身につけていくために、まずは赤ちゃんによる自分みがきから始めましょう。

#### 【STEP 2】ママ・パパの仕上げみがき

専用の歯ブラシや月齢に合った歯みがき剤を使い、ママ・パパの手で汚れや歯垢をしっかりと落としてあげましょう。

#### 【STEP 3】おやすみ前のフッ素コート

仕上げみがきの後は、乳歯全体にフッ素を塗布し、虫歯になりにくい口内環境をつくってあげましょう。

### <3STEPに合わせたピジョンの商品ラインアップ>



## ■ 赤ちゃんのフッ素ケアのポイント

回答者：内川 喜盛（うちかわ よしもり）先生

日本歯科大学附属病院 副院長・小児歯科教授



### ● 赤ちゃんの乳歯にフッ素ケアは必要ですか？

「生後6ヶ月頃から生え始めてくる乳歯は、永久歯に比べ虫歯になりやすく、またエナメル質や象牙質が永久歯の約半分の薄さのため、虫歯の進行が速いという特長があります。生えている乳歯の数が少ないからと言って、日頃のケアを怠っていると、あっという間に虫歯は進行してしまいます。フッ素は、再石灰化の促進や歯質強化の効果があり、生え始めの時期に虫歯にならないためにも、早期からフッ素ケアが大切です。毎日の歯みがき習慣の中にフッ素を上手に取り入れ、赤ちゃんが虫歯になりにくい口内環境をつくることを心がけましょう。」

### ● 赤ちゃんにフッ素を塗布しても大丈夫？

「フッ素は自然界に存在する元素の一種で、体を構成する微量元素でもあります。みなさんが口にする食品の中にも微量ながら含まれていますので、赤ちゃんへのフッ素塗布についても、用法・用量を守って正しく使用すれば、心配する必要はありません。歯が生え始めてくる生後6ヶ月頃の赤ちゃんには、フッ素濃度が100ppmほどに抑えられているフッ素塗布剤をオススメします。この濃度は、使用後のすすぎが不要なので、うがいのできない低月齢のお子さまでも安心して使える濃度です。」

### ● フッ素塗布のタイミング・ポイントは？

「フッ素によるケアは、毎日の歯みがき中、または歯みがき後に使用することで効果が期待できます。乳歯が生えたら、朝・昼・夜寝る前の1日3回、低濃度のフッ素を継続して塗布することを推奨します。お口の中に残る低濃度のフッ素が虫歯から乳歯を守ってくれます。また、ホームケアだけでなく、お子様の歯の質や状態に合わせて3～6ヵ月おきに歯医者さんで歯科検診を受け、専門のフッ素塗布を行いましょう。」